

たいよう新聞

482号

3月10日発行

この噂は本当...?



休みが少ない...??

厳しい...??

「業界都市伝説」の 真実に迫る!

「休みが少ない」「アナログ」「厳しい」——建設業界に対し、そのようなイメージを持たれている方もいるでしょう。しかし、実際はどうなのでしょう?法令遵守の勤務管理や最新ツールの導入など、変革が進む太洋基礎工業の実情について、環境開発部副部長のTさんに、現場の最前線の変化を伺いました。



東京支店 環境開発部
副部長
Tさん



休みがなく、残業が多いのでは...?

休日は柔軟に取得でき、残業も削減

現在は完全週休2日制としており、工事の着工時や完了時などはやむを得ず責任者として土曜日に出勤する場合がありますが、その際は同月に振替休日を取得するなどして調整しています。

法律に沿った労働時間管理

残業も、昔に比べれば確実に減少しました。業界全体として労働時間に対する法律が厳しくなっていることもあり、会社としても無駄な作業を省くなど、業務の効率化を推進しています。一歩ずつですが、確実に改善の方向へ進んでおり、私自身もオンとオフの切り替えを大切にしながら充実した生活を送っています。



上下関係が
厳しいそう...

威圧感のない風通しの良さ

「体育会系の厳しい上下関係」というイメージも、現在の社内には当てはまりません。厳しすぎる上下関係はなく、若手社員でも役職者に意見を言える風通しの良さがあります。理不尽に叱責するようなこともなく、お互いの話を聞く姿勢が根付いています。



ずっと現場にいるのは
大変そう...

大きな達成感があるから頑張れる

夏は暑く冬は寒い……屋外での仕事は、決して楽ではありません。しかし、大きな現場が無事に工期内に終わり、お客様から直接「ありがとう」という言葉をいただいたときの達成感は、何物にも代えがたいものです。自分が関わった仕事が目に見える形となり、誰かの役に立っていることを実感しやすい点は、この仕事の大きな魅力です。

女性は活躍できない
業界ですよね...



多様な職種で広がる 女性の活躍

現場管理など、かつては男性中心だった職域でも、現在は女性社員が力を発揮できる環境が整っています。子どもの養育のためのフレックスタイム制の導入や、育児休暇などの制度活用も含め、性別を問わず長くキャリアを築けるよう、会社全体でバックアップ体制の充実に努めています。

IT化が遅れ、いまだに
アナログな印象があります...



デジタルツールによる 業務効率化

かつては重い紙の図面を持ち歩き、写真は現像して整理していましたが、今は一人ひとりがタブレット端末を持っています。現場で撮影した写真は即座にデータとして共有でき、図面も画面上で確認できるため、事務所に戻らずとも作業が可能です。各種ツールに関しても、十分にデジタル化が進んでいます。

いつも危険と
隣り合わせですよね...?



安全管理の徹底と教育

現場の安全面については、厳重に管理しています。これは理不尽な厳しさではなく、社員を守るための責任です。適切な装備の徹底や安全教育を繰り返すことで、不安を払拭し、誰もが安心して働ける現場づくりを最優先事項として取り組んでいます。

汚れるし、
現場環境が悪そう...



現場環境の整備と衛生管理

建設現場は「汚れる」というイメージが強いかもしれませんが、今は現場事務所や休憩所の環境整備が非常に進んでいます。かつてのイメージとは異なり、快適性や衛生面への配慮は当たり前のこと。私たちがストレスなく、清潔で整った環境で仕事に集中できるよう、現場環境のアップデートが日々進んでいることを私自身も実感しています。

いかがでしたでしょうか？このように当社では、
.....
建設業界の古いイメージを払拭すべく、独自の
.....
変革を推進しています。しかし、今の環境がゴール
.....
ではありません。当社が目指す「建設業の新3K
.....
(給与・休暇・希望)」を誰もが体感できる職場
.....
づくりのため、今後もさらに働きやすい環境を
.....
追求していく覚悟です。現状に甘んじることなく、
.....
次なるステージへと進む当社の取り組みにご注
.....
目ください！
.....

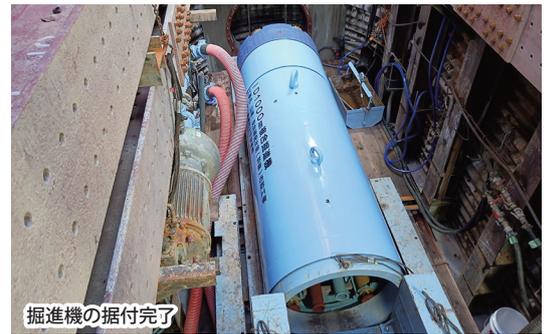
最前線レポート

山浦・安良線配水管(幹線)布設工事

太洋基礎工業が担当したさまざまな現場を紹介するこの企画。今回は、佐賀県鳥栖市で行われた水道管の設置工事です。掘削作業に立ちをはかったのは、硬い地盤ともろい地層。この問題をどう乗り越えたのでしょうか？

現場概要

| | |
|------|--|
| 現場名 | 山浦・安良線配水管(幹線)布設工事 |
| 施工期間 | 2025年9月29日～2025年12月26日 |
| 場所 | 佐賀県鳥栖市原古賀町 |
| 発注者 | 鳥栖市上下水道局様 |
| 元請 | 鳥栖設備工業有限公司 |
| 現場体制 | 太洋基礎工業株式会社4名、他協力会社2名 |
| 施工目的 | 新しい水道管(φ700mm)を通すための保護管(さや管、φ1000mm)を地中に設置する工事 |



掘進機の据付完了

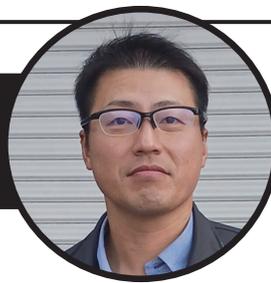


推進開始前の面板



推進完了後の面板

九州支店 工事部 課長 Tさん



現場の特徴

硬い地盤と脆い地層が混在する難しい区間

川底から約3.8mの深さを、45mにわたって掘り進める河川横断工事でした。地盤の大部分は、コンクリート並みに硬い岩盤(100～150MN/m²級)。その一方で、風化してもろくなった地層との境目も含まれており、掘削の難しい区間となっていました。内側に通す水道本管(ダクタイル鋳鉄管)を守るため、外側のさや管(コンクリート製のヒューム管)には極めて高い設置精度が求められました。

苦勞した点と乗り越え方

想定外の推力増大と変化する土質への対応

岩盤を掘り進めるにあたり、大きく2つの課題に直面しました。

1つ目は「管を押し込む力(推力)の増大」です。施工中、想定以上の大きな抵抗を受け、計画値を大幅に上回る力で押し込まないと管が進まない事態に直面しました。そこで原因究明を行い、推力上昇の要因を一つひとつ検証。岩を砕いた粉の有無をはじめ、摩擦を減らす潤滑剤の種類や泥水の状況などを確認し、注入方法に工夫を凝らすことで摩擦の低減を図りました。その結果、終盤は計画通りの推力まで回復し、無事に到達地点まで管を押しきることができたのです。

2つ目は「土質変化への対応」です。硬い地層からもろい地層、そして再び硬い地層へと極端に土質が変化する区間では、掘削機先端の姿勢(向き)を真っ直ぐに保つことが困難でした。柔らかい地層に入ると、機械自身の重みで先端が沈み込みもうとします。そこで、排出される土の状態を常に注視することで地層の変化をいち早く察知。機械が下がる挙動を見越してこまめな方向修正を行うことで、高い精度を維持しました。



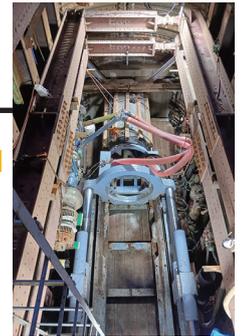
▲掘進機の操作中

現場を振り返って

問題解決のために粘り強く対応

工期中盤までは推力増大や土質変化への対応に時間を要しましたが、粘り強く対策を講じたことで、終盤は順調に進捗しました。結果として、無事故無災害かつ工程遅延もなく、元請より要望いただいた工期内に工事を

完了。今後も関係者全員が高い安全意識を持って作業に取り組み、どのような現場でも高品質な施工で工事を完遂できるよう努めます。

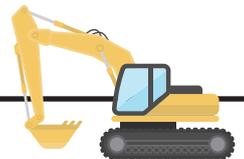


▲推進作業中

印象深かった出来事

社員で成し遂げた工事

今回、一番印象に残っているのは、ほぼ当社の社員のみで施工を行ったことです。難易度の高い現場でしたが、社員の手で精度の高い施工を実現できたことは、私たちにとって非常に大きな経験となりました。この経験は技術力の向上だけでなく、チームとしての大きな自信につながりました。



声援

小さな達成を積み重ねる目標管理術

2002年の入社以来、私は多くの現場に携わってきました。日々状況が変化する建設現場においてモチベーションを維持するコツは、大きな目標を細分化し、身近な課題を一つひとつ積み重ねることです。目の前の工程を確実にクリアすることで得られる充実感は、次のステップへ向かう大きな原動力になっています。

また、週末は趣味のサウナでリフレッシュする時間を大切にしています。サウナを通して心身を整えることで、休み明けの仕事への活力を養っています。このような「自分なりの切り替え」を持つことが、長く仕事を続けていく上での秘訣ではないでしょうか。

座右の銘は「One for all, All for one」

私の座右の銘は、ラグビーや小説『三銃士』でも有名な「One for all, All for one (一人は皆のために、皆は一人のために)」です。現場は個人の力だけで成立するものではなく、協力会社様や取引先様を含むチーム全体の結束があってこそ、最良の成果を生むことができます。独善的な判断を排し、日頃のコミュニケーションを通じて誰もが意見を出し合える環境づくりを徹底しています。今後もこの精神を大切に、組織一丸となって皆様の信頼に応えられるよう邁進する所存です。



東京支店 工事部
副部長

Mさん

👑 月間MVP賞 👑



東京支店 工事部

受賞者

Aさん

推薦理由

武田線新設工事(管路)その2工事において、株式会社関電工様より表彰されました。厳しい環境下で安全かつ品質を維持した結果です。ここに、月間MVP賞へ推薦いたします。

(推薦者:東京支店 工事部 部長 Sさん)



※月間MVP賞は当社社員だけではなく、協力会社の皆さまも表彰の対象となっています。自薦、他薦は問いません。多くの受賞者が出ることを期待しています。

花粉対策のススメ

「我慢する春」から「楽しむ春」へ

暖かくなり、徐々に花粉が舞う季節となりました。「またあの季節か」と憂鬱になる前に、今年少し視点を変えてみましょう。この時期を「暮らしを見直す好機」と捉え、早めの準備で心身を整える。そんな賢い春の迎え方が、毎日をより豊かにしてくれます。

体の内側からバリア機能を整える

発酵食品で免疫力を高める「腸活」

花粉に負けない体を作るには、免疫力の要である「腸」のケアが欠かせません。朝食にヨーグルトや納豆などの発酵食品を取り入れ、腸内環境を整える「腸活」を意識しましょう。食物繊維が豊富な根菜類をプラスするのもおすすめです。



ムズムズを和らげる、季節のお茶を取り入れる

飲み物もこの季節限定で、いつものコーヒーからハーブティーに変えてみてはいかがでしょうか。「べにふうき茶」や「てん茶」は、ムズムズ感の緩和に役立つと注目されています。そのうえ美容や健康にも良く、まさに一石二鳥!体の中からバリア機能を高め、揺らがないコンディションを目指しましょう。

